

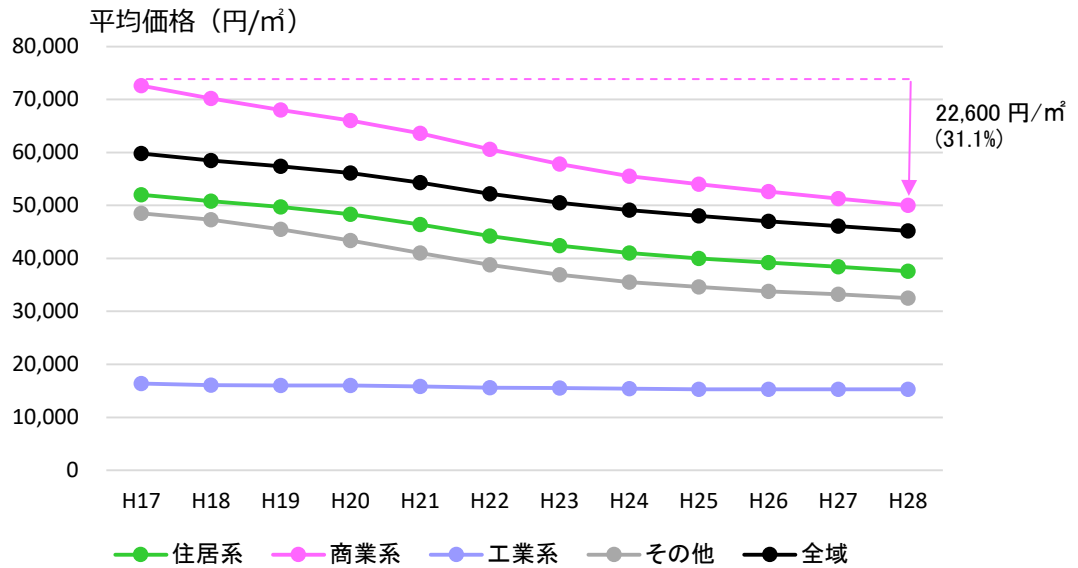
## (7) 経済・財政・地価の現状の整理

### ア. 用途地域、白地地域、中心市街地等における地価の推移

本市の地価推移は、工業系を除き平成 17 年から減少傾向にあります。特に平成 17 年から平成 28 年で 20,000 円/㎡程度下がっています。

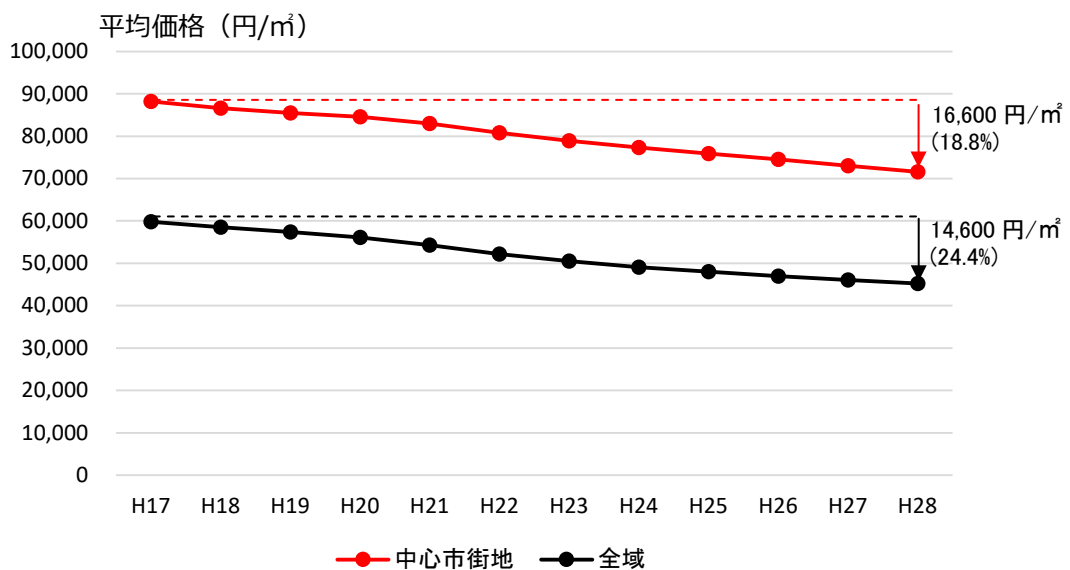
また、中心市街地平均と全市平均を比較すると、中心市街地平均の方が、下落幅が大きくなっています。

図表 用途別平均地価の推移



資料:平成 27 年度地価公示(各年 1 月 1 日)・平成 28 年都道府県地価調査(各年 7 月 1 日時点)

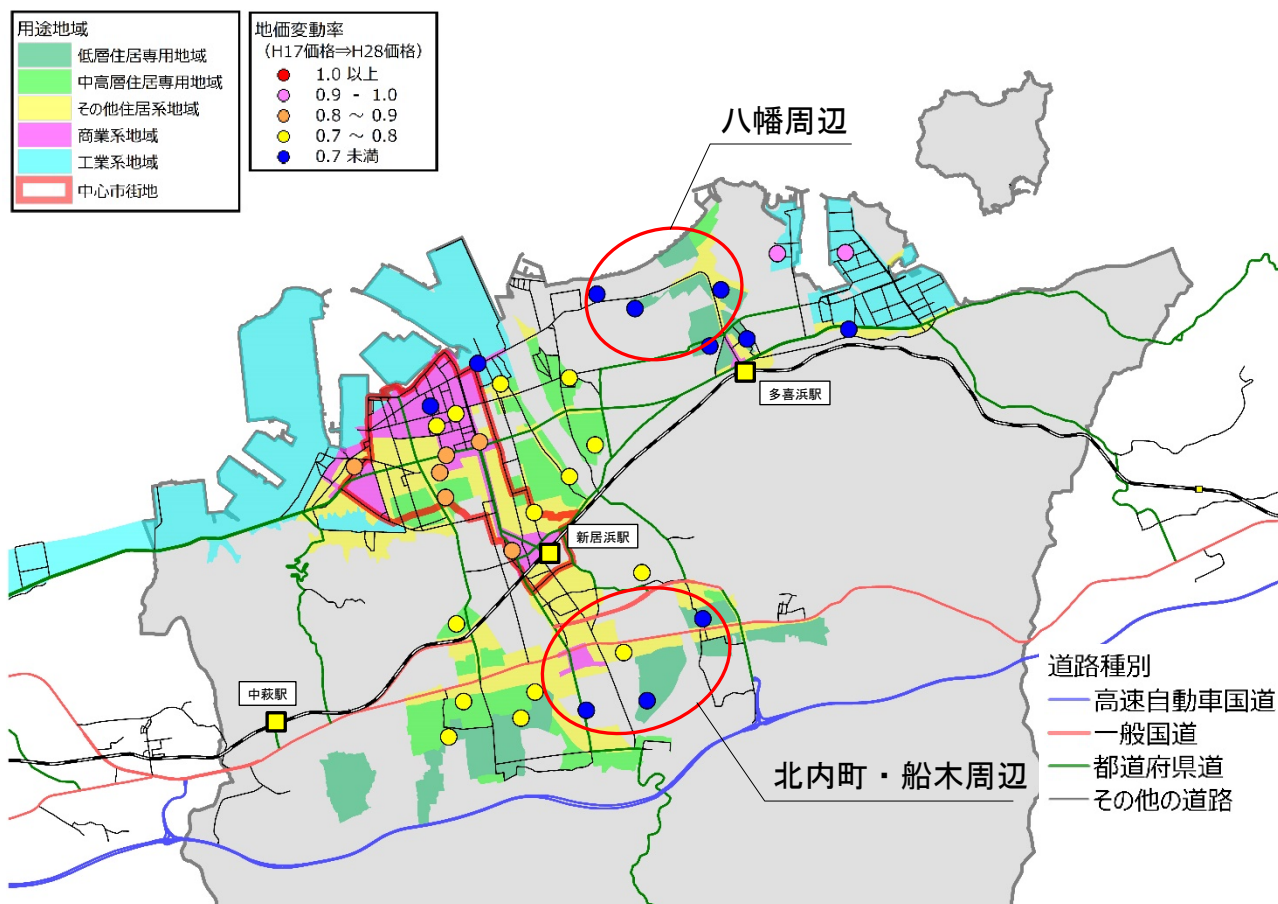
図表 中心市街地の平均地価の推移



資料:平成 27 年度地価公示(各年 1 月 1 日)・平成 28 年都道府県地価調査(各年 7 月 1 日時点)

地点別の変化率で見た場合、市街地北部の八幡周辺や市街地南部の北内町・船木周辺などの住居系の下落率が大きくなっています。

図表 地価調査地点



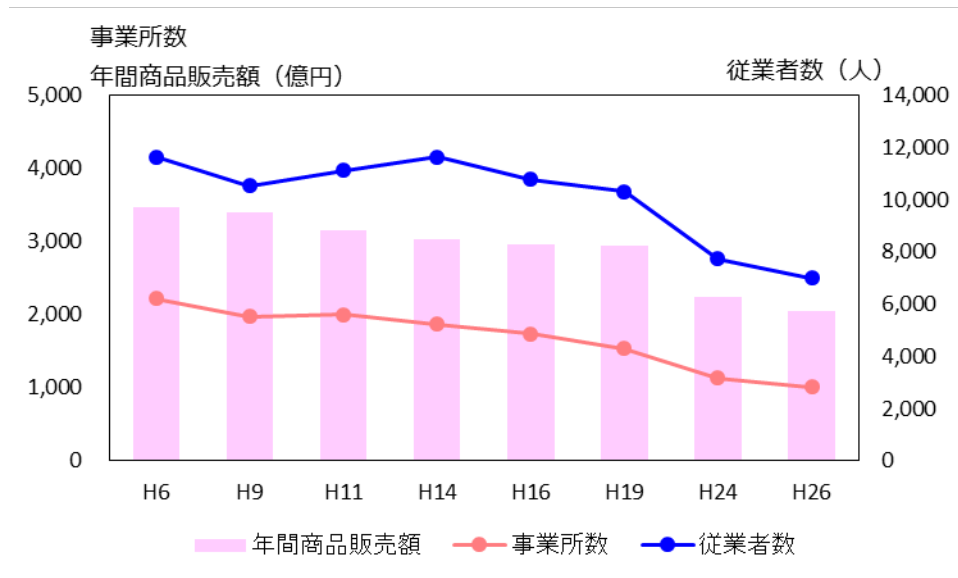
資料:平成 27 年度地価公示(各年 1 月 1 日)・平成 28 年都道府県地価調査(各年 7 月 1 日時点)

## イ. 商業販売額、事業所数、従業者数の等の推移

本市における卸売、小売の年間商品販売額、事業所数、従業者数は、平成6年以降減少傾向で推移しており、この傾向が続くと考えられます。

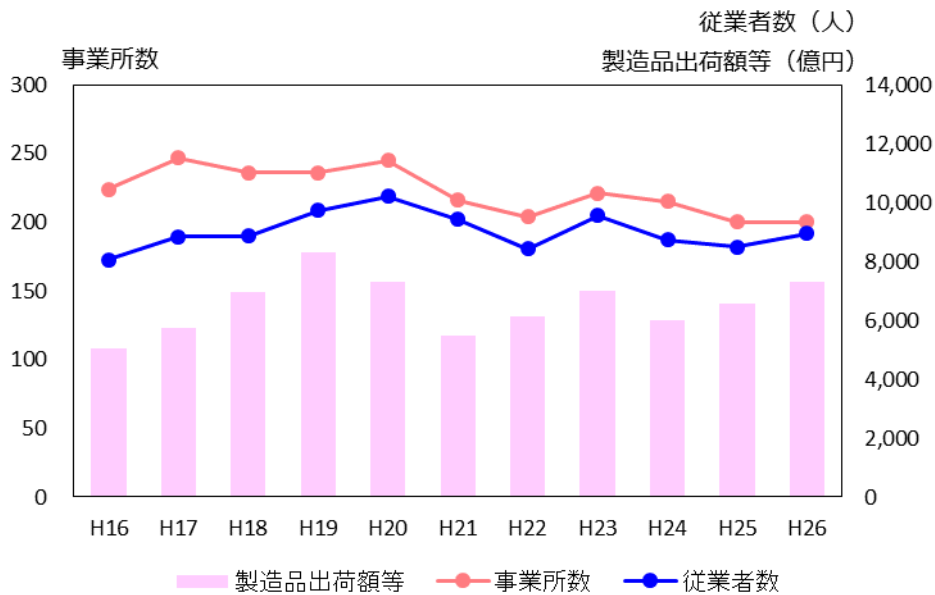
工業の製造品出荷額、事業所数、従業者数は、製造品出荷額、従業者数が増加減少を繰り返す中、事業所数が減少傾向にあります。

図表 年間商品販売額、事業所数、従業者数(卸売業+小売)



資料: 商業統計・経済センサス活動調査

図表 製造品出荷額、事業所数、従業者数(工業)



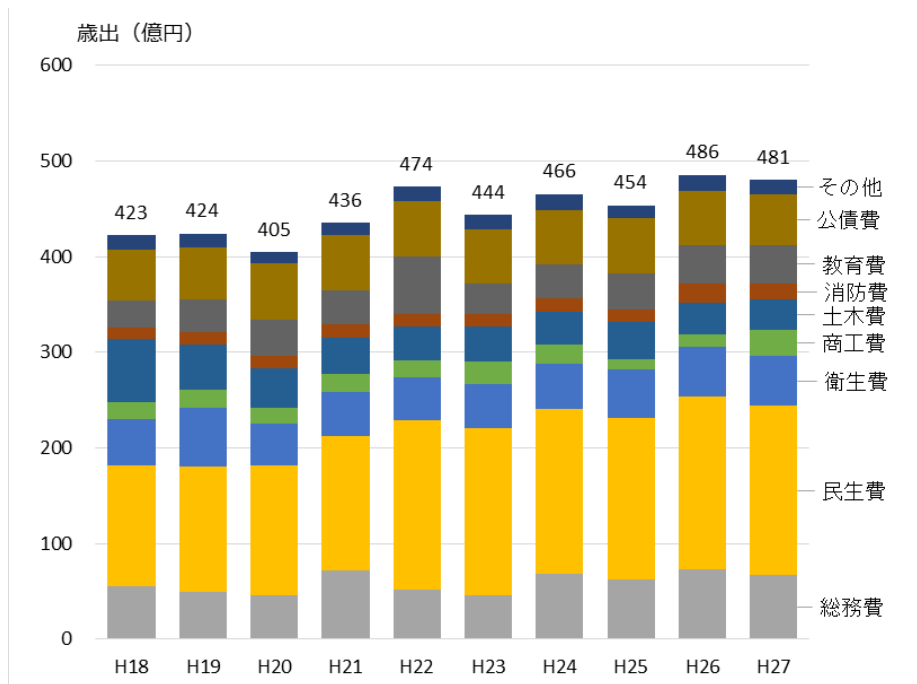
資料: 工業統計

## ウ. 歳出、歳入及び内訳の推移

本市の歳出は、全体として増加傾向で、特に民生費の増加が大きくなっています。高齢化の進行とともに費用が増加し、さらにこの傾向が進むと考えられます。

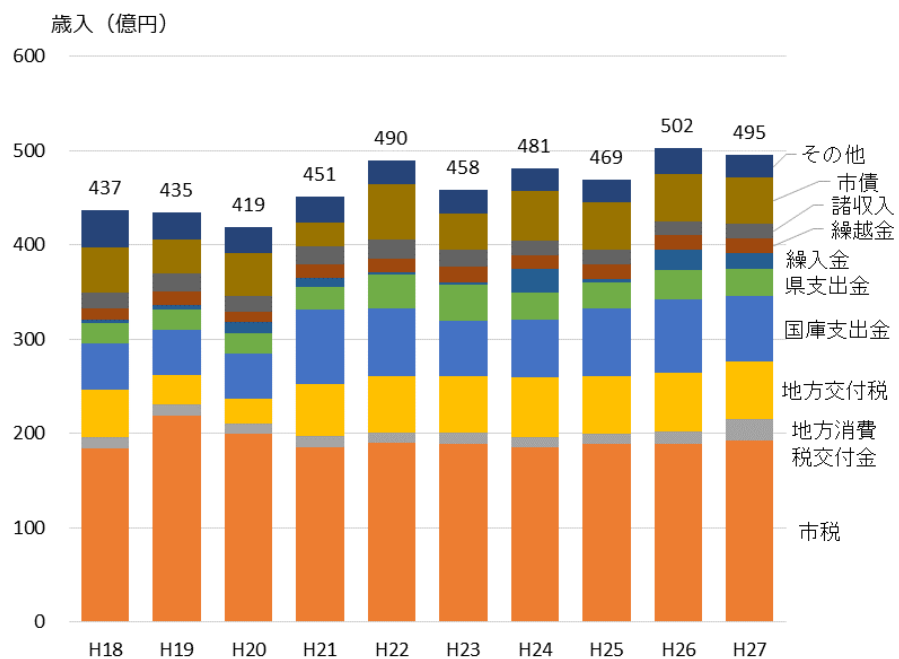
歳入は、全体として増加傾向ですが、市民税等が横ばいで、地方交付税や国庫支出金が増加しています。

図表 歳出推移



資料: いはま市政概要

図表 歳入推移



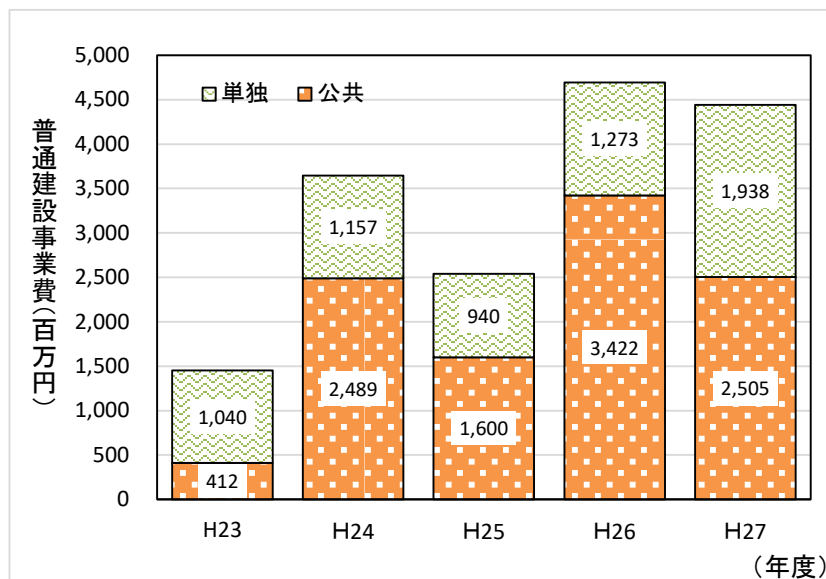
資料: いはま市政概要

## エ. 公共施設にかかる費用

これまでに、ハコモノ公共施設には、過去5年間（H23～H27年度）で、平均約33億5,500万円の費用を掛けてきています。

平成23年度からの推移を見ると、年度により増減はあるものの、全体的には増加傾向にあります。

図表 これまで公共施設に掛けてきた費用の整理



単位: 千円

年度	普通建設事業費(ハコモノ)		合計
	公共	単独	
H23	411,540	1,039,649	1,451,188
H24	2,489,039	1,157,325	3,646,364
H25	1,600,244	939,794	2,540,038
H26	3,422,014	1,273,196	4,695,210
H27	2,505,107	1,938,042	4,443,149
平均	2,085,589	1,269,601	3,355,190

資料: 新居浜市資料